

海洋プラスチック 海に流れる その前に



Photo by Peretz Partensky CC-BY-SA

海洋プラスチック問題

海に流れ込んでしまったプラスチックごみ（海洋プラ）のせいで…

「海の環境」「生態系」「漁業」「観光」などに影響が出るかもしれません！



堺市環境マスコットキャラクター「ムーヤン」



堺浜自然再生ふれあいビーチ

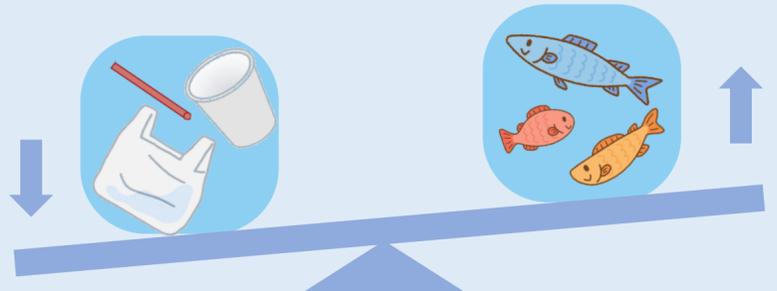
現状 / 課題

現在、プラスチックは私たちの生活に欠かせないもので、毎年、膨大な量が生産、利用されています。

そして、一部がポイ捨てやごみ捨ての時にこぼれ出てしまい、河川などを通して海に流れ出て、海洋プラとなつてしまっています。



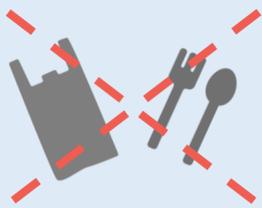
このまま対策をしなければ、2050年には海洋プラの重量が魚の重量を超える可能性があります。



わたしたちにできること

使う量を減らす

▶ 不要な使い捨てプラは断ろう！



レジ袋やカトラリーなど、不要な使い捨てプラはもらわないようにしましょう。

▶ マイ〇〇を使おう！

繰り返し使えるマイボトルやマイバッグを活用しましょう。



正しく捨てる

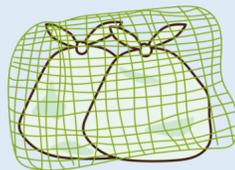
▶ ポイ捨ては絶対にやめよう！



ポイ捨てされたごみは、風や雨で流されて、川から海へ流れる可能性があります。

▶ ごみの散乱を防ごう！

散乱したごみも海洋プラになる可能性があります。ネットを被せるなど、ごみが飛ばない、漏れないように気を付けましょう。



落ちているごみを拾う

▶ 清掃活動に参加してみよう！



街中での清掃活動も、海に流れ着くごみを減らすことにつながります。

ぜひご協力をお願いします！



堺市での取組などは、HPでも紹介中です！

詳しくはこちら

